

## 第7章 施設計画に関する基本的な考え方

### 保育・教育計画の方針を踏まえた施設計画の方針

- 「（仮称）くにみ学園」に関わるあらゆる世代の人同士の「交流」「協働」「学び合い」「育ち合い」を促す環境づくり
- 子どもの「答えのない問い」への挑戦を支えるため、あらゆる地域資源を活用した「体験」を提供し、「本物」に触れさせる環境づくり
- 「自然」「生命」「歴史」「文化」を尊重し、その恵みや偉大さに感謝する精神を育む環境づくり
- 最新の防災機能や防犯機能を備えた、子どもが安心・安全に過ごすことができる環境づくり

### 施設規模

- 認定こども園 保育室数 13
- 義務教育学校（小中一貫校） 学級数 31（普通学級 21 特別支援学級 10）

## 第7章 施設計画に関する基本的な考え方 (「(仮称)くにみ学園」がめざす施設環境の在り方)

### 豊かな心をはぐくむ場

- ・ 国見町の新たな保育・教育の場としてのシンボル性が感じられる
- ・ 日当たり、風通しを考慮した配置とし、調和のとれたデザイン
- ・ 子どもたちが交じり合う空間となるよう出入口を一つとし、運動場へも出やすいよう配慮された昇降口
- ・ 異年齢が交わる動線を確保し、交流の機会を促進できる構造

### 健康な体をはぐくむ場

- ・ 自校給食での食育の推進が可能なランチルームの整備
- ・ 校舎の移動による運動率アップが見込める構造体

## 自ら学ぶ力をはぐくむ場

- ・図書室を校舎の真ん中に配置することで、知識が増え想像力が育ちやすい環境を生み出す
- ・屋内だけでなく、気軽に外に出て遊びや活動ができる環境、栽培や飼育等を通じて様々なことを学べる環境を作る
- ・学習内容によって最適な環境を生み出せる、可動性のある空間づくり
- ・太陽光・バイオマス・地熱・水素などの脱炭素、新エネルギーを校舎設備に導入し、子どもたちが学べる環境を作る

## 郷土愛をはぐくむ場

- ・展示室や大型モニター設置等、成果発表が見える工夫

## 安心して学べる場

- ・ 日常的に教職員が交流し、子どもたちに対し協働した取り組みやサポートがしやすい環境
- ・ 子どもの年齢や体格に合わせ、ゆとりのもてる空間を意識した配置
- ・ インクルーシブ教育の実現のため、バリアフリーやエレベーターを導入し、障がいの有無にかかわらず同じ教室で学べる環境
- ・ 子どもの特性に配慮した部屋の確保      ・ ICT環境の整備      ・ SDGsの推進

## 地域とともにある環境

- ・ 地域学校協働本部機能を設置し、地域住民（ボランティア）と学校（教職員）をつなぐコーディネーターの役割を十分発揮できる環境
- ・ 運動施設（校庭、体育館、プール）や調理室、ランチルームは子どもたちのほか地域住民への開放を視野に入れたものとする